

# 会 議 録

令和元年9月12日調製

審議会等名	令和元年度 第1回 生涯学習推進会議		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	令和元年7月29日（月） 午後7時～8時		
開催場所	三条市中央公民館 大集会室	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	委員 (10人)	橋本 良嗣委員（会長） 味田 克博委員 山浦 良子委員 佐藤 英夫委員	高橋 美智子委員（副会長） 大湊 幸子委員 与斉 利夫委員 宮島 健 委員
	職員 (4人)	恋塚生涯学習課長 岡田生涯学習推進係長 澤崎一般任用主事	笹倉生涯学習課長補佐
協議事項	・会長、副会長の選出について		
議 題	(1) 第2次三条市生涯学習推進計画 平成30年度実施報告について 資料No.1		
	(2) 第2次三条市生涯学習推進計画 令和元年度実施計画について 資料No.2		
	(3) その他		
会議内容	別紙のとおり		

<p>19:00 岡田係長</p>	<p>皆さま大変お疲れ様です。お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>会議に先立ちまして、本日、委員の皆さまのお手元に委嘱状をお渡しさせていただいております。任期は本年5月1日から令和3年4月30日までの2年間となっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>あらかじめ御了解いただきたいと思います。三条市生涯学習推進会議設置要綱では、会議の議長は会長が務めることになっております。現時点では会長、副会長が不在となっておりますので、会長が選出されるまでの間、事務局で司会進行をさせていただきます。</p> <p>本日、委員10人のところ、出席予定委員10人全員がお揃いですので、これより令和元年度第1回三条市生涯学習推進会議を開会したいと思います。</p> <p>はじめに、恋塚生涯学習課長が御挨拶を申し上げます。</p>
<p>恋塚課長</p>	<p>&lt;課長あいさつ&gt;</p>
<p>岡田係長</p>	<p>それでは「3 自己紹介」をお願いします。</p> <p>橋本委員の方から座席順に自己紹介をお願いします。</p> <p>(委員座席順に自己紹介)</p> <p>(職員自己紹介)</p> <p>続きまして、「4 協議事項 会長、副会長の選出について」でございます。まず会長の選出をお願いしたいと思います。会長の選出は委員の互選により行うことと規定されております。適任の方がいらっしゃいましたら御推薦をお願いします。</p>
<p>内藤委員</p>	<p>橋本 良嗣委員が適任と思われますので推薦させていただきます。</p>
<p>岡田係長</p>	<p>橋本委員のお名前が挙がりましたが他にございませんか。</p> <p>それでは、会長を橋本委員に決定することに御異議ありませんか。</p> <p>&lt;「異議なし」の声あり&gt;</p> <p>御異議ありませんので、ただいま、橋本 良嗣委員が会長に決定しました。</p> <p>それでは、会長席に御移動いただき、橋本委員におかれましては、就任の御挨拶をお願いします。</p>

橋本会長	<橋本会長 就任の挨拶>
岡田係長	ありがとうございました。 以後の議事進行を橋本会長からお願いします。
橋本会長	それでは、副会長の選出についてですが、会長選出と同じく互選により行うこととなっておりますので適任の方がいらっしゃいましたら御推薦をお願いします。
内藤委員	高橋 美智子委員が適任と思いますので推薦させていただきます。
橋本会長	高橋委員との声があがりましたが、御異議ございませんか。
	<「異議なし」の声あり>
	御異議ないようでありますので、高橋委員さんから副会長をお願いしたいと思えます。
	高橋委員におかれましては副会長席に御移動いただきたいと思えます。
	それでは、副会長就任の御挨拶をお願いします。
高橋副会長	<高橋副会長 就任の挨拶>
橋本会長	それでは、議題に沿って進行します。 まずは、事務局 配布資料の確認をお願いします。
岡田係長	(資料確認) ・配布資料確認 ① 次第 ② 委員名簿 ③ 座席表 ④ 第2次三条市生涯学習推進計画 平成30年度実施報告について資料No.1 ⑤ 第2次三条市生涯学習推進計画 令和元年度実施計画について資料No.2 ⑥ 平成30年度の生涯学習推進計画の実績と課題の概要 ⑦ 令和元年度の生涯学習推進計画の新規取組の概要 ⑧ 第2次三条市生涯学習推進計画(冊子)
橋本会長	それでは、「5議題(1)第2次三条市生涯学習推進計画 平成30年度実施報告について」事務局説明をお願いします。
恋塚課長	「5議題(1)第2次三条市生涯学習推進計画 平成30年度実施報告につ

	<p>いて」の説明の前に、新委員が6人いらっしゃいますので平成27年度に策定した「第2次三条市生涯学習推進計画」策定の経緯等について御説明をさせていただきます。</p> <p>＜第2次三条市生涯学習推進計画の概要について説明＞</p> <p>引き続き、議題5（1）第2次三条市生涯学習推進計画 平成30年度【実施報告】について説明をさせていただきます。</p>
澤崎一般任用主事	<p>議題（1）第2次三条市生涯学習推進計画 平成30年度実施報告について説明</p>
橋本会長	<p>ただいま、第2次三条市生涯学習推進計画 平成30年度【実施報告】について説明していただきましたが、何か御質問はありませんか。</p>
宮島健委員	<p>C評価の31%や40%の事業でも継続している事業もあるが、事業を見直すかどうかは、評価だけではなくて、事業の中身も関係していますか。</p>
澤崎一般任用主事	<p>その年によって、天候不順により、参加者が大きく減少したり、中止になることもあり、必ずしも数値評価だけで事業の方向性は判断していません。</p>
佐藤委員	<p>各事業の評価は、各担当課が評価していますか。</p>
澤崎一般任用主事	<p>去年から評価については目標値と実績値から計算する評価方法に変更になったため、各担当課が評価して生涯学習課へ報告をいただいています。</p>
内藤委員	<p>評価と方向性を定める基準にはどのような関係性がありますか。</p>
澤崎一般任用主事	<p>基本的には、需要がなければ縮小となるが、C評価でも地域との連携事業であれば、継続となることもあり、また、A、B評価でも講師の都合で開催できなくなれば、廃止したり、複数の似た内容の事業を集約するために既存の事業を廃止することもあり、各事業で個別の事情がある場合もあります。</p>
佐藤委員	<p>公民館が行っている事業があるが、地域のコミュニティが育ってきている中で、今後、地域コミュニティに公民館が行っている教室事業等をコミュニティに担ってもらおうほうが、より地域住民の要望に合った事業展開をしていけるのではないですか。</p>
恋塚課長	<p>個人的にはそうなって行くべきだと思います。ただ、各地域のコミュニティによって温度差はあると思うので、まずは、暮らしている方々が外に出る機会</p>

	を創出して、そこで参加型事業の基礎ができれば、各地域が行いたいことができるようになると思いますので、将来的にはおっしゃられた方向性を実現できればと思います。
橋本会長	他に質問は無いでしょうか。 しばらくして質問が無いようでございますので、次に5議題(2)第2次三条市生涯学習推進計画令和元年度【実施計画】について事務局説明をお願いします。
澤崎一般任用主事	議題(2)第2次三条市生涯学習推進計画令和元年度実施計画について説明
橋本会長	ただいま、第2次三条市生涯学習推進計画令和元年度【実施計画】の事業概要について説明をしていただきましたが、何か、御質問はありませんか。
宮島敏明委員	高齢者へのインタビューの対象として高齢者は何歳以上のことを指しますか。アンケートを聞いた男女比はどのような感じですか。
岡田係長	65歳以上の高齢者を対象に、男性は43人、女性は58人と聞いています。
宮島敏明委員	色欲、射幸心を刺激する事業とあるが、表現があからさますぎるのももう少し言葉を言い換えることはできませんか。
笹倉課長補佐	公民館の今までなかった取組に高齢者に来てほしいということからこのような表現で設定させていただいたところですが、色欲という言葉については異性交流くらいの表現に変更させていただければと思います。射幸心という言葉については、もう少し表現を検討させていただきたいと思います
佐藤委員	8年計画の4年が過ぎてあと4年後に当初の理想像が本当に具体的にないと良いと思うが現状の見込みはどうですか。
恋塚課長	見込みとしては、4年前と行っている取組は変わってきていて、コミュニティの関係や、いろいろな型で協力していく方向性も出てきていて、もちろん目標値について達成に近づいていけばいいと思いますが、取組に来た方が何か自分の得意なことを教えたり、ボランティアに携わる方に誘導して、多くの方がまちなかや外に出てきて、取組のお手伝いをしてもらうなどすれば地域に活気が出てくると思います。4年後次にどう計画するかについては皆様の意見を頂戴するとともにコミュニティとのかかわりについても皆様から意見をいただきたいと思います。
佐藤委員	各学校でコミュニティスクールを取り組んでいるが、現在、先生が中心で取

	<p>り組んでいますが、今後、地域の方が入って運営していく必要があると思います。それを達成できれば、学校を核とした地域づくりができると思います。地域を担う人材が増え、地域のコミュニティスクールに携わっていければ、子どもたちのために地域をもりあげていただけるのではないのでしょうか。</p>
<p>内藤委員</p>	<p>御指摘のとおり、各学園制になり、コミュニティスクールの取組をしているが、各学園で学校運営協議会を立ち上げられないかと検討しています。わが校でも行事の運営等で保護者の協力はいただいているがうまくいかないこともあり、地域の方が中心になって携わってもらえると助かります。縦割りではなく横の連携で人づくりや理念のとおり裾野を広げる事業をしていただいて応援してもらえるとコミュニティの活発化ができるかなと思います。</p>
<p>恋塚課長</p>	<p>現在、高齢者向けの取組や子ども向けの一番星事業を行っていますが、30代～50代までの方については取組になかなか参加されていないのが現状で、いかにすれば参加してもらえるか意見をいただければと思います。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>PTA の役員をされている方はお子さんが卒業すると手を引いてしまう現状で、その後、コミュニティの活動に引っ張り込めるように一部取組を行っているが、なかなか結果に結びついていないのが現状です。</p>
<p>宮島敏明委員</p>	<p>栄地区ではコミュニティについての情報は聞いたことがないです。</p>
<p>恋塚課長</p>	<p>知っている限りでは、小さな集まりでもコミュニティとして成り立つこともありますし、補助金の対象となる規模の大きな総合型のコミュニティは8～9個あり、今後それを拡大していきたいと考えています。</p>
<p>橋本会長</p>	<p>10～15人くらいの人つながりのある小さな集まりも1つのコミュニティだと思うし、大きな集まりで中学校区単位の総合型のコミュニティというものもあると思うし、高齢者に外出してもらって長生きするような仕組みにすることが重要だと思います。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>大崎地区のコミュニティの例では、大崎地区の一小一中規模で5つの部会を持ち、防犯、青少年育成、体力づくり、環境等の5つの部会があります。30～40人が所属して運営として活動しています。活動資金は上限120万円の助成と各世帯から600円くらい徴収して、毎月広報等を発行しているが、全部の世帯からは理解は得られていません。地域の課題を解決するためにどのようなことが求められているかはボランティアの立場として活動している現状では難しいところですが、コミュニティの事務局が学校内に入居して、学校とコミュニティが一緒になって学校の要望に応えられるように地域のコーディネーターの役割として人材の紹介等で協力できれば良いかなと思います。</p>

与齊委員	新規の事業はどのような形で決めていますか。
澤崎一般任用主事	基本的には講座や事業終了後にアンケートの要望に沿った事業を行っていますが、市の政策として重点的に定められたものがあれば、そのテーマに沿った事業も行います。また、市民が自ら進んで行いたい事業の募集も行っており、その中で、自ら講師として教える講座も設けています。
橋本会長	他に質問はありますか。 しばらくして質問が無いようでございますので、「(4) その他」について事務局何かありますでしょうか。
事務局	特にありません。
橋本会長	本日、用意されました議題につきまして無事終了することができました。 スムーズな進行に御協力をいただきありがとうございました。 それでは、本日の議題はこれで全て終了となります。委員の皆様におかれましては長時間大変お疲れさまでございました。